

チャットGPTの活用方針について

2023.5.23
行政改革 I C T 推進課

1. 活用実証の結果

活用可能と思われる業務

- ・ 資料、あいさつ文などの原案（たたき台）の作成
- ・ 企画等のアイデア出しや自分の思考の深掘り
- ・ 複数のエクセルデータの統合などを実行するためのエクセルの数式、マクロの作成
- ・ 施策検討のためのペルソナの設定（栃木県に観光に行く若年女性など）
- ・ 指定した項目に関する情報検索（全国の都道府県の動向など）
- ・ 文章の要約、校正 など

活用する上での注意点

- ・ 検索した結果の正確性に欠ける
- ・ リアルタイムでの情報確認ができない



注意すべき点はあるが、うまく活用することで業務効率化が図れるという意見が大勢であった（44/51件）

2. 対応方針

- (1) 業務効率の向上が見込めるため、使い方に注意し、本格運用に向けて準備を進める。
- (2) 本格運用に向けて、安全性を担保するため次の措置を講じる。
 - ① **アカウントの設定により入力情報を学習されないよう対策**する。
 - ② **栃木県庁内だけで利用できるシステムをクラウド上に構築**する。
- (3) (2)②の環境を構築するためには、現行のMicrosoftとの契約を変更し、新たなアカウントの申請と承諾の手続（約3か月）を要するため、**その間は試行用アカウントを増やして試行を継続**する。
- (4) 利用にあたっての注意点や効果的な利用方法などをまとめた**ガイドラインを策定**する。

3. 今後のスケジュール

	R5.5	6	7	8	9	10
試行		●				
ガイドライン策定	●				●	
Microsoftとの契約変更		●	●			
新アカウント申請			●			
本格運用					●	→

4. ほかの言語生成AIについて

現在、日本語で一般利用できる言語生成AIはチャットGPT（Open AI）とBard（Google）のみであり、当面は先行して公開されたチャットGPTを導入し、継続的にほかの言語生成AIについても情報を収集していく。